

(1) 概要

本市の公共下水道事業は、阿武隈川下流流域関連公共下水道として昭和50年度から工事に着手、昭和62年度に供用開始し、平成26年度末の下水道普及率は65.1%、整備面積904.1haとなっています。農業集落排水は、これまでに3地区を整備し、平成26年度末で普及率は5.5%、水洗化率は59%となっています。合併処理浄化槽事業については、個人設置型のみの事業手法を進めています。当市の合併浄化槽普及率は14.9%となっており、整備が遅れている状況にあります。平成27年に策定した白石市生活排水処理施設整備基本構想に沿って整備を進めていきます。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理普及率：H26 85.5%

H37 93.5%

H47 100%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（流域関連）

平成37年を整備完了として、計画的な整備に努めます。整備にあたって、クイックプロジェクトの技術のうち、①管きよの露出配管、②発生土の管きよ基礎への利用、③道路線形に合わせた施工、④流動化処理土の管きよ施工への利用等について導入を検討し、早期概成及びコスト縮減に努めていきます。

下水道普及率：H26 65.1%

H37 64.0%

H47 63.7%

2) 集落排水事業（農集）

処理施設が公共下水道へ近接する農業集落排水薬師堂地区について、事業効率を高めるため、平成37年頃を目途に公共下水道への接続を検討します。農集排の機能強化を踏まえながら適切な運営管理のもと統廃合を進めます。

集落排水普及率：H26 5.5%

H37 5.0%

H47 5.0%

3) 合併処理浄化槽整備事業

本市では、個人設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。早期概成に向けて、生活排水未処理家庭への戸別訪問勧誘の推進等を実施していく予定です。浄化槽未普及人口が多いため普及促進が課題となっています。

浄化槽普及率：H26 14.9%

H37 24.4%

H47 31.3%

(4) 住民との協働

住民理解を深めて頂くための具体的施策として、浄化槽の普及促進活動や融資あっせん制度を検討・PRし、水洗化率向上を図ります。下水道フェア（流域下水道で開催されるイベントにおいて、下水道PRやアンケートの実施）の開催により、水洗化率向上に努めます。年間を通じた未接続世帯の戸別訪問及び工事施工前や供用開始時、受益者負担金納付書発行時等に戸別訪問を実施し、水洗化率・収納率の向上を図ります。